コロナ禍の避難を考えよう あなたはどうする？

問危機管理課 ☎(235)4790

昨年10月に発生した台風19号では、過去最大人数の約5,000人が避難所に避難しました。もし、新型コロナウイルス禍で避難を余儀なくされたとき、あなたはどのように行動しますか。地震とは違い、風水害の発生はある程度の予測ができます。新型コロナウイルス感染防止を視野に入れた避難行動や備えを考えましょう。

「マイ避難所」を検討しましょう

まずはハザードマップで自宅が浸水する恐れがないかを確認しましょう。安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。浸水や土砂災害などの危険性がある場合は、あらかじめ避難先を決めておく必要があります。

避難先は必ずしも市の避難所である必要はありません。親戚・知人宅なども選択肢に入れ、自分自身の避難先（＝マイ避難所）を検討しておきましょう。密を避けるための車中泊も有効ですが、浸水しない高台を選ぶなど周囲の状況を十分確認しておきましょう。

ハザードマップなどの防災情報

例えば…

あなたの避難のタイミングは？

避難のタイミングは皆さんが置かれている環境や体の状態などで異なります。一緒に避難する人の状態、避難先までの距離・移動手段などを念頭に決める必要があります。夜間や大雨、強風時の避難は危険を伴います。早めに判断し、安全に行動しやすい日中に避難しましょう。

市の情報だけでなく、気象庁や県、テレビ・ラジオなども参考に、あなたのタイミングを考えましょう。

警戒レベルを参考に判断しましょう

台風や大雨などで災害が予測されるとき、市は警戒レベルで避難のタイミングをお知らせします。「警戒レベル3」は高齢者や障がい者など避難に時間がかかる方の避難、「警戒レベル4」は危険な場所にいる全ての方の避難、「警戒レベル5」は命を守る行動が必要なときです。判断の目安にしてください。

- 警戒レベル5：**災害が発生！** 避難できない場合は高い場所へ移動
- 警戒レベル4：危険な場所から **全員避難！**
- 警戒レベル3：危険な場所から **高齢者などは避難！**
- 警戒レベル2：**避難行動を確認**
- 警戒レベル1：防災ガイドブックを見直すなど **災害への心構えを高める**

危険な避難

夜間や、大雨・強風発生時の避難

安全な避難

日中に行動できる早めの避難

城山ダムの緊急放流時 県と市が警報を出します

台風や大雨で城山ダムが緊急放流を行うときは、県と市がサイレンを鳴らして警報を出します。

相模川付近や相模川浸水想定区域に住む方は、安全な場所へ避難してください。

車で避難するときは

城山ダムが緊急放流を行うときは、災害協定を締結している「イオン海老名店」の立体駐車場が一時避難場所として利用できます。また、相模川浸水想定区域外にある公園も一部開放します。いざというときのために確認しておきましょう。現在、その他の施設についても調整しています。路上駐車は避難時や緊急時の通行を妨げるのでやめてください。

イオン海老名店	中央２-４-１
国分寺台第二児童公園	国分寺台２-10付近
国分寺台第三児童公園	国分寺台３-4付近
かしわ台児童公園	柏ケ谷703-１付近
国分第一児童公園	国分北３-５付近
浜田三塚公園	浜田町１-１付近